

耐候性鋼橋の適用環境評価手法の高度化に関する研究（Ⅱ）

凍結防止剤散布の影響に関する検討

目次

第1章	はじめに	1
1.1	我が国の道路構造物を取り巻く塩分環境と凍結防止剤	1
1.2	本研究の目的	5
第2章	凍結防止剤が無塗装耐候性鋼橋に与える影響について	6
2.1	既往の調査結果に基づくさびレベルと環境条件に関する評価	6
2.1.1	はじめに	6
2.1.2	調査データとその整理	6
2.1.3	分析結果	17
2.1.4	まとめ	19
2.2	橋の調査結果 ～地山近接橋、並列橋～	20
2.2.1	はじめに	20
2.2.2	対象橋と調査内容	20
2.2.3	地山までの距離とさび厚・付着塩分量の関係	27
2.2.4	隣接橋の有無とさび厚・付着塩分量の関係	31
2.2.5	まとめ	33
2.3	橋の調査結果 ～地山近接橋～	34
2.3.1	はじめに	34
2.3.2	対象橋と調査内容	34
2.3.3	調査結果	35
2.3.4	まとめ	37
2.4	橋の調査結果 ～並列橋、湿潤環境～	38
2.4.1	はじめに	38
2.4.2	対象橋	38
2.4.3	外観調査結果	40
2.4.4	まとめ	40
2.5	まとめ	42
第3章	米国における無塗装耐候性鋼橋の実態	43
3.1	はじめに	43
3.2	調査目的	43

3.3	訪問先	44
3.4	調査内容	45
3.5	調査結果	46
3.6	まとめ	50
第4章 凍結防止剤散布の飛散による桁への塩分付着に関する解析的検討		52
4.1	はじめに	52
4.2	解析方法	52
4.3	平地の橋モデルによる解析	63
4.4	地山近接橋モデルによる解析	112
4.5	並列橋モデルによる解析	138
4.6	まとめ	166
第5章 まとめ		171